

2007年11月21日

報道関係者各位

株式会社カール

カール、「VB」の画面、ロジックを リッチクライアント型 Web システム「Curl」に自動変換するツールを発表

- ・ 自動変換診断ツールを無償提供
- ・ VB のロジック及び画面をリッチクライアント Curl に自動変換
- ・ C/S 型システムから Web システムへの移行コストの削減と開発期間の短縮を実現

株式会社カール（本社：東京都中央区、社長：井藤 登、以下カール社）は、Visual Basic（以下、VB）で開発した C/S 型アプリケーションを、「Curl」を用いたリッチクライアント対応の Web システムに自動変換するツール群「V2C」を 2007 年 11 月 21 日（水）から提供を開始します。

今回提供するツールの詳細は以下のとおりです。

「V2C-アセスメント・ツール」：自動変換率の診断（無償提供）

「V2C-Screen」：Visual Basic の画面コンポーネントの自動変換

「V2C-Logic」： Visual Basic のロジックコンポーネントを自動変換

「V2C-DA アクセス・モジュール」：既存の DB 資産と連結するサーバモジュール

VB などの C/S 型システムは、ユーザ・インタフェースの豊富さ、使い勝手の良さから現在でも多くの業務系システムで利用されていますが、インターネット網の活用や再配布等の維持運用コストの削減要求から Web システムへの転換が望まれています。しかしながら、C/S 型アプリケーションを HTML ベースの Web システムに移行した場合、ユーザーインターフェースの制約とレスポンスの低下が発生し、業務効率の悪化が大きな課題となっています。リッチクライアント「Curl」はこの問題を解決し、C/S 型システムと同等の操作性、使い勝手を Web システムで提供することができます。

今回提供する「V2C」は、ライブラリ・ドリブン方式のツールで VB の画面及びロジック部分を自動変換することができます。平均的な自動変換率は、ライブラリの準備状況に依存しますが、画面部分ではほぼ 100%、ロジック部分に関してはアプリケーション固有に組み込まれたコンポーネント等への未対応コードから、60%から 90%を達成しています。また、自動変換率の見極めには、同時に無償提供する「アセスメント・ツール」を実行することで、リッチクライアント対応の Web システムへの変換に必要とする開発工数をあらかじめ見積ることができます。

C/S システムをリッチクライアント対応の Web システムに変更する総合的なシステム・インテグレーション(以下 SI)サービスは、住商情報システム株式会社をはじめ、カール社の SI パートナが提供いたします。V2C を利用したシステム構築コストは、手作業による構築コストの概ね 50%off を想定していますが、システムの複雑度等の諸要因により増減しています。

【V2C の特徴】

- 1 . アセスメント・ツールにより自動変換率を手軽に見積り可能
- 2 . VB の画面及びロジック両方のコンポーネントを「Curl」に自動変換
- 3 . 既存 DB との連携モジュールを提供し、資産の有効利用が可能
- 4 . VB と同等の操作性やレスポンスを Web システムで提供可能
- 5 . Web システムへの移行コストの削減と開発期間の短縮を実現
- 6 . 既存 C/S アプリケーションと同様の画面、機能を提供することで、新システム利用開始に伴うトレーニングコストが不要

【V2C の構成】

(添付資料を参照)

【V2C の詳細サイト】

株式会社カール、Curlマイグレーションサービス <http://www.curlap.com/service/migration.html>

【会社概要】

株式会社カール <http://www.curlap.com/>

所在地 : 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 12 号
晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ

設立 : 2004 年 12 月

資本金 : 10 百万円

代表者 : 代表取締役社長 井藤 登

事業内容 : リッチクライアント Curl 製品の販売 / コンサルテーション / サポート。ライセンス販売の他に、Curl ブランドのマーケティングをイベント参加や広告を通じて展開中。

【リッチクライアント言語 「Curl」】

リッチクライアント言語 Curl は、現在の Web アプリケーションの問題や課題を解決し、高度かつ複雑なユーザーインターフェースをもつシステムの構築を可能にする次世代型 Web プログラミング言語。

HTML のようなテキストフォーマットから高パフォーマンス 3D グラフィックスまで、Curl 言語は広範囲に渡る開発記述に対応します。

クライアントサイドに特化し、Web アプリケーションのユーザーインターフェースを画期的に向上。さらに、OS、メーカーを問わず、あらゆるサーバ製品との連携性を高めることで、データやシステムなどの既存資産を効率的な活用ができる。

95 年に MIT (米国マサチューセッツ工科大学) で次世代の Web 開発言語として研究され、98 年

に米国 Curl 社を設立。日本語版は 03 年より。現在、日本国内は大手企業を中心に 340 社以上が採用。

Curl の機能概要

対応 OS	Windows、Linux、Mac
ランタイムのサイズ (Windows の場合)	9MB
ロジック開発言語	Curl 言語
画面設計言語	Curl 言語
オフライン稼働	可能
ブラウザ不要 (独自フレームによる起動)	可能
外部 DLL サポート	あり
ローカルファイルへのアクセス	可能
複数サーバへのアクセス	可能
Web サービスの利用	可能。オープンソースで API を提供
開発環境	開発統合環境 Curl IDE を提供
無償版の提供	あり

【本件に関するお問い合わせ先】

製品に関するお問い合わせ先

株式会社カール 営業部

担当：田崎

TEL：03-5547-3866

E-mail：vb2curl@curlap.com

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ

株式会社カール マーケティング部

担当：杉本、杉浦

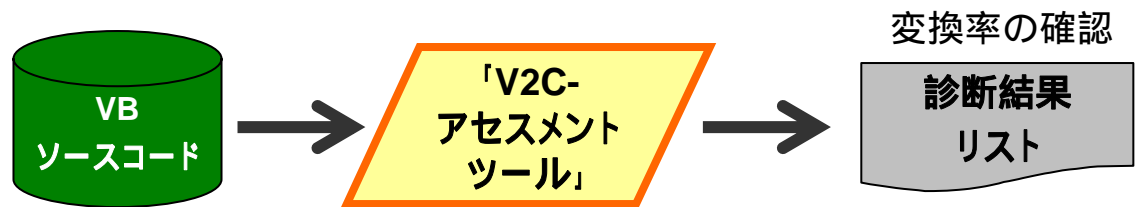
TEL：03-5547-3866

* 掲載の社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。

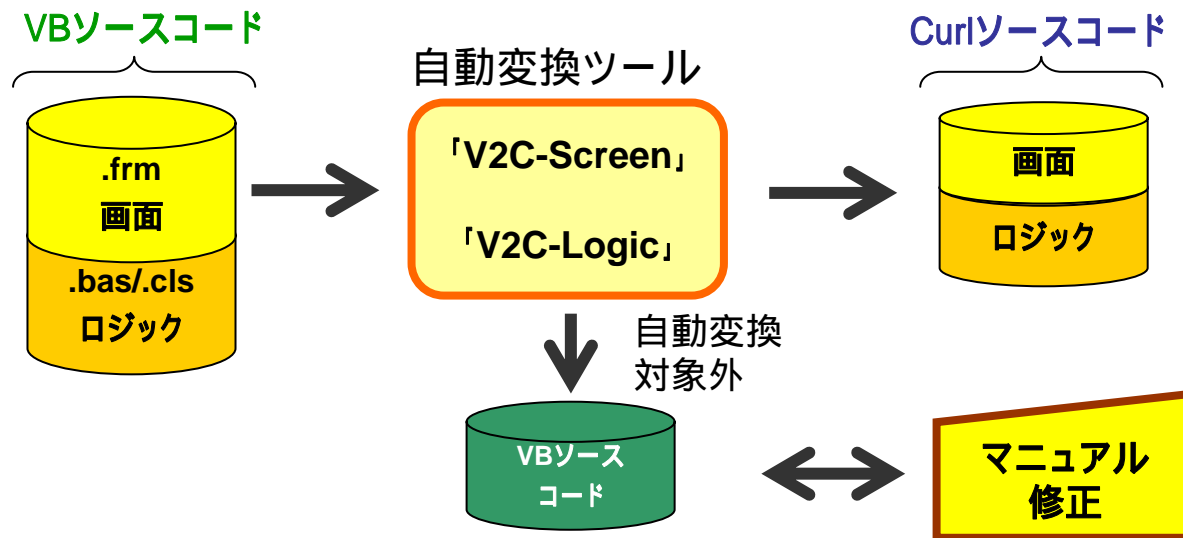
以上

VBからCurlを用いたWebシステムへの自動変換ツール: V2Cの構成

1. 対象システムの調査 (無償提供)



2. 自動変換ツール



3. 実行環境の構成

